

絵本「イヌワシの棲む山」ができました



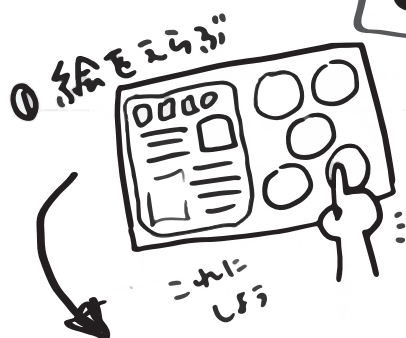
6月25日(金)、ネイチャーセンター友の会から絵本が出ました！
 南三陸ワシタカ研究会・立花繁信名誉会長の没後一年記念事業として
 製作されたこの本は、南三陸地域の小中学校、図書館、公民館に配布
 されます。「山さ、ございん」HPでもPDF版をダウンロードできます。
<http://yamasagozain.com/ehon.php>
 絵本の問い合わせは0226-46-2037 友の会事務局まで。



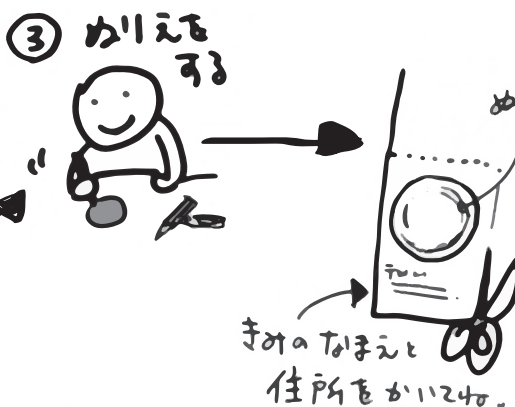
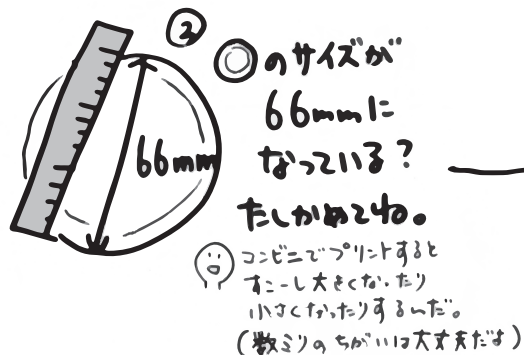
大人も子どもも、送って作ろう！
 イヌワシぬりえ缶バッジ

あそびかた

※封筒に84円切手を貼ってお送り下さい。
 バッジ代と返送の送料は友の会で負担します。
 バッジの到着まで数週間お時間をいただきます。



「イヌワシの棲む山」には、イヌワシと私たちが仲良くなるためのいろんなヒントがかくれているんだ。絵本にでてくるいろんな絵を色ぬりして、一枚えらんで友の会に送ると……すてきな缶バッジになってかえってくるよ！
 ハカセたちからのコメントもお楽しみに！



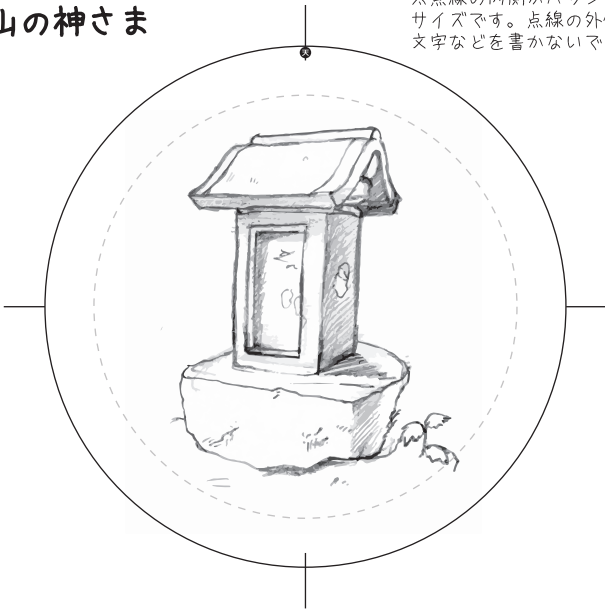
※ZOOMでの配信です。
 くわしくは友の会HP、
 またはお問い合わせください

7/22(木)15:00~16:00
 イヌワシ絵本出版記念！
 編集チームここだけの裏話
 ~ぬり絵コメントタイムつき~

応募先 ▶ 〒986-0729 宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前 205-12 南三陸ネイチャーセンター友の会事務局 イヌワシぬりえ缶バッジ係あて
 【応募期間 7/1-7/31】

山の神さま

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

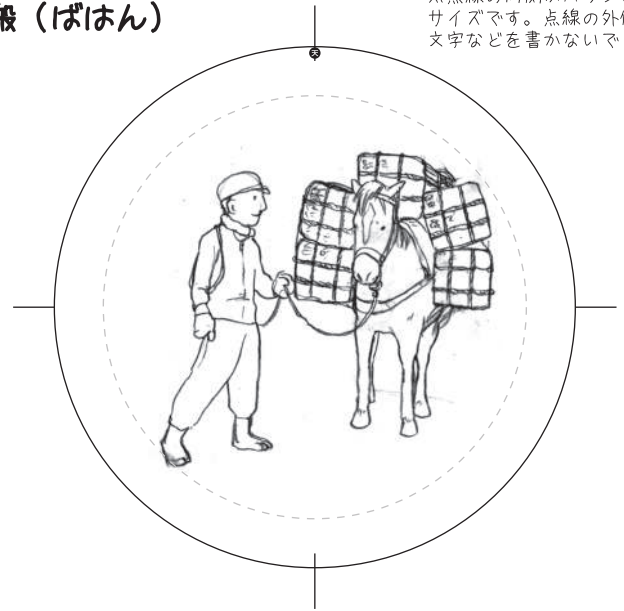


物語は、山のふもとに暮らすじいちゃんの家、町に住む小学生のタックンが遊びにきて、山のまつへの祠（ほくら）まで一緒に登るところから始まります。南三陸地域のおもな山の頂上には、山の神さまや金華山（きんかさん）などをおまつりする石碑や祠があり、その周りには御神木（ごしんぼく）として杉が植えられていることが良くあります。

なまえ

馬搬（ばはん）

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



今ではなかなか見かけませんが、かつて馬は農業や荷物の運搬に活躍してくれる大事な動物でした。馬で荷物を運ぶことを馬搬（ばはん）といい、それを仕事とすることを駄賃附（だちんづけ）といいました。「お駄賃」の語源ですわ。ここでは、山で焼いた炭（すみ）を茅（かや）で編んだ「炭すご」で包み、馬の背に乗せて運ぶ様子を描いています。

なまえ

タックンとじいちゃん

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

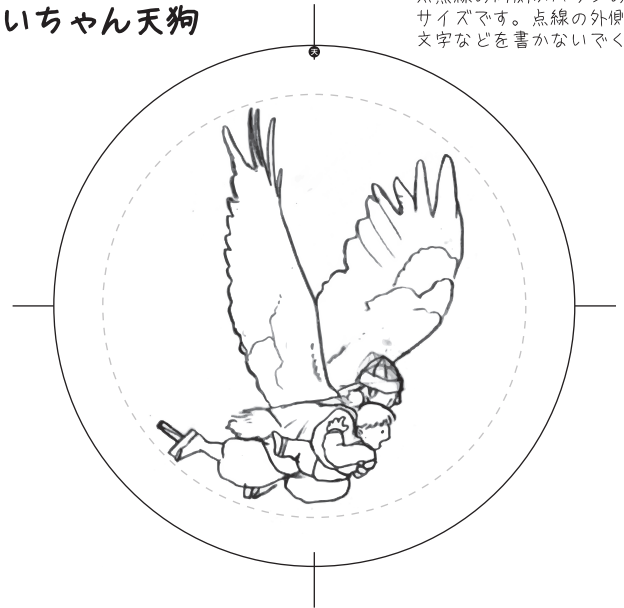


杉木立の中を、山の神さまに見守られながら帰っていくじいちゃんとタックン。

なまえ

じいちゃん天狗

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



イヌワシの翼を持ったじいちゃん天狗（まんぐ）に抱えられて飛び立つタックン。天狗は山にすむ力の強い存在で、神とも妖怪ともいわれます。山伏（やまぶし）の格好をしてみ、鼻が高く赤い顔のものと、鳥のくちばしを持ったもの（いわゆる「カラス天狗」）がありますが、どちらも自由自在に空を飛べる神通力（じんつうりき）を持っています。

なまえ

▼切り取って、封筒にはりつけて使ってね。右がわには自分の住所を書いてね▼

〒986-0729

宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前 205-12
南三陸ネイチャーセンター友の会事務局
イヌワシぬりえ缶バッジ係あて

〒

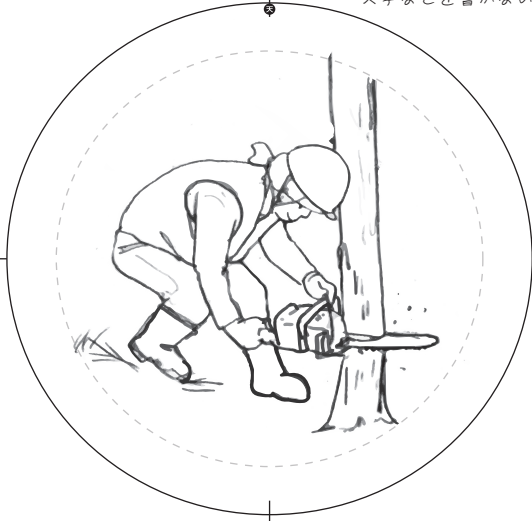
じゅうじょう

なまえ



間伐 (かんばつ)

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

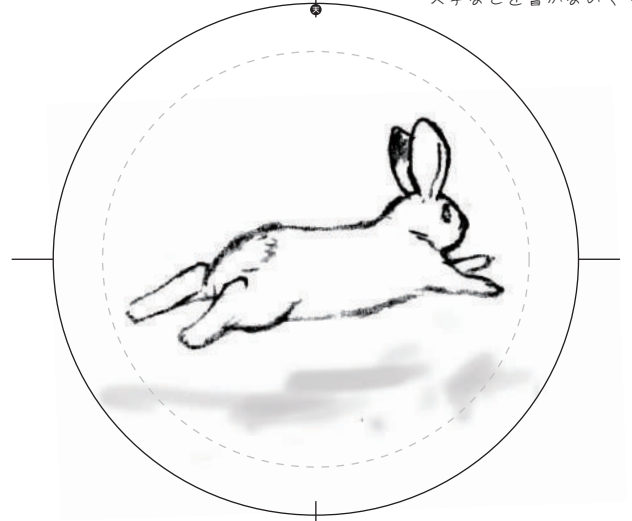


植林 (しょくりん) された杉の苗木は、空に向かってまっすぐ伸びていきますが、そのままだと混みいった暗い林になってしまうので、適度な間隔をたもつために間引く作業が間伐 (かんばつ) です。

間伐によって太陽の光を浴びて、健康で立派な杉が育ちます。明るい林には下草も多く育ち、ノウサギなどの生き物も暮らしやすくなります。

ノウサギ

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

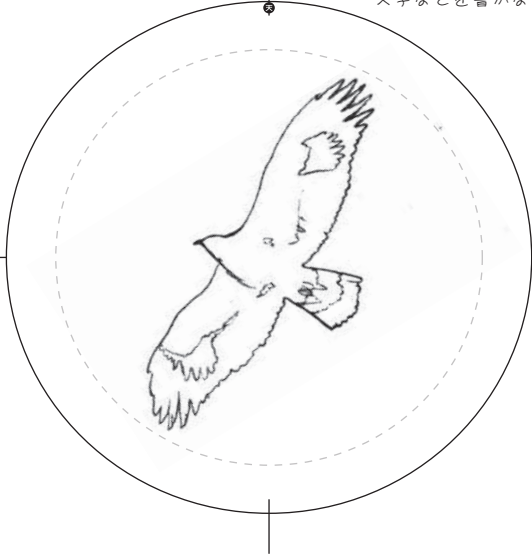


日本の野山にすむノウサギ。草や木の葉、若い枝などを食べる草食 (そうしょく) 動物で、草が少ない冬には木の皮や杉の苗木をかじったりもします。穴は掘らず、休むときは草むらやヤブの中であじっとしています。

雪国では冬は毛が白くなりますが、雪の少ない南三陸地域では冬でも白くなりません。イヌワシにとって大切な獲物 (えもの) のひとつです。

若いイヌワシ

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

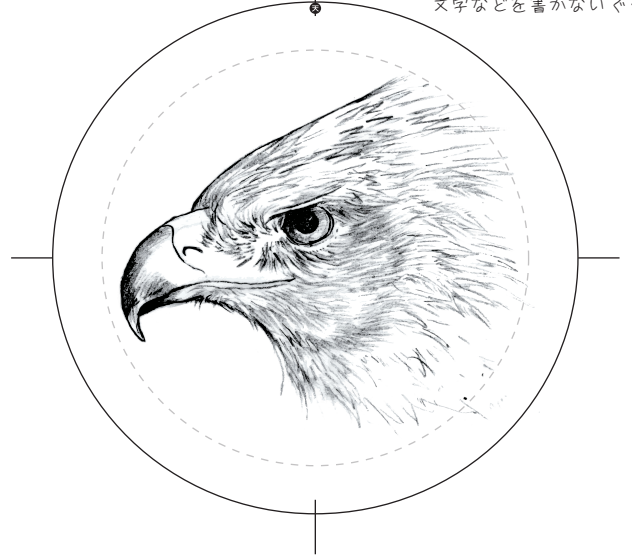


若いイヌワシには、翼と尾に目立つ白い斑紋 (はんもん) があります。じいちゃんがすぐに「若いイヌワシ」とわかったのは、この斑紋を見たからです。

イヌワシは寿命が長く、無事に成長して大人になれば、その後は数十年も生き続けます。タックンが大人になった時、このイヌワシも無事に大人になっていることを願いたいですね。

イヌワシの顔

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



イヌワシの最大の特徴は、後頭部のたまがみのような羽が黄金色に輝くこと。そのため英語では「ゴールデン・イーグル」(黄金鷲) と呼ばれます。東北樂天ゴールデンイーグルスの「ゴールデン・イーグル」ですわ。

また、その見た目や生態が「天狗」をイメージさせるためか、日本では漢字で「狗鷲」と書いて「イヌワシ」と読ませています。

▼切り取って、封筒にはりつけて使ってね。右がわには自分の住所を書いてね▼

〒986-0729

宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前 205-12

南三陸ネイチャーセンター友の会事務局

イヌワシぬりえ缶バッジ係あて

〒

じゅうしよ

なまえ



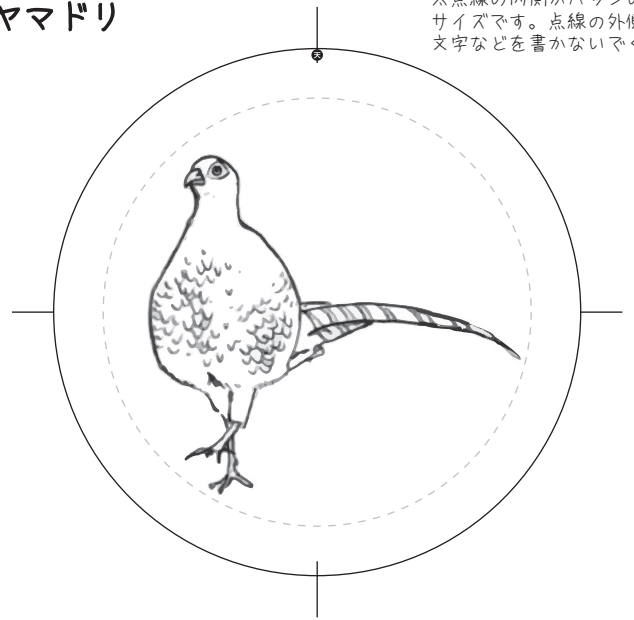
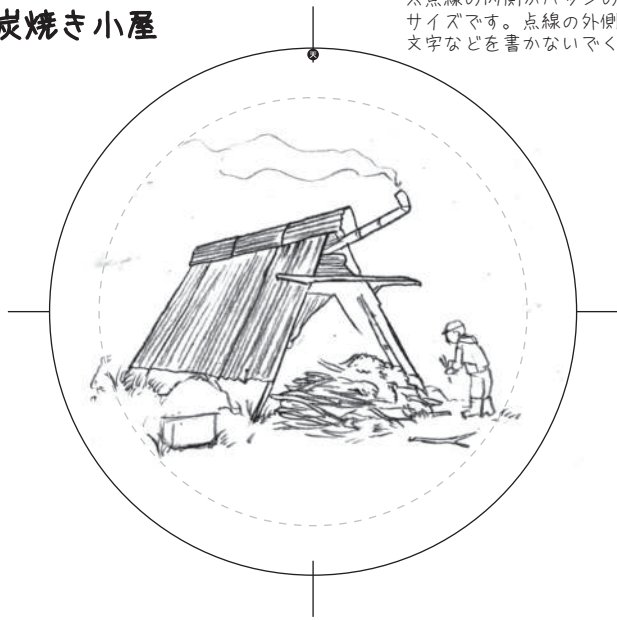
炭焼き小屋

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



ヤマドリ

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



クマギヤコナラなどを、土で作った大きな釜（炭焼き釜）で蒸して炭化させたものを「木炭（もくたん）」といいます。木そのものである「薪（まき）」よりも火力が強く煙が少ないので、燃料として重宝されました。炭焼き釜に屋根を掛けたのが「炭焼き小屋」です。炭や薪の原料となる雑木林は薪炭林（しんたんりん）と呼ばれ、山の大切な資源でした。

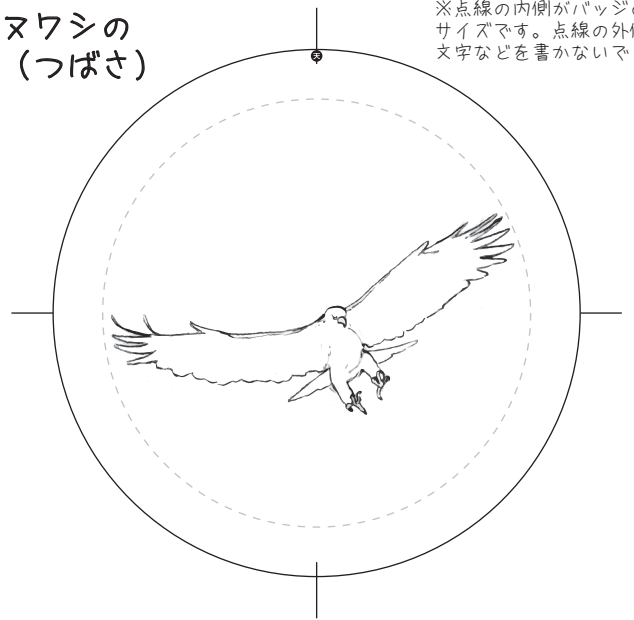
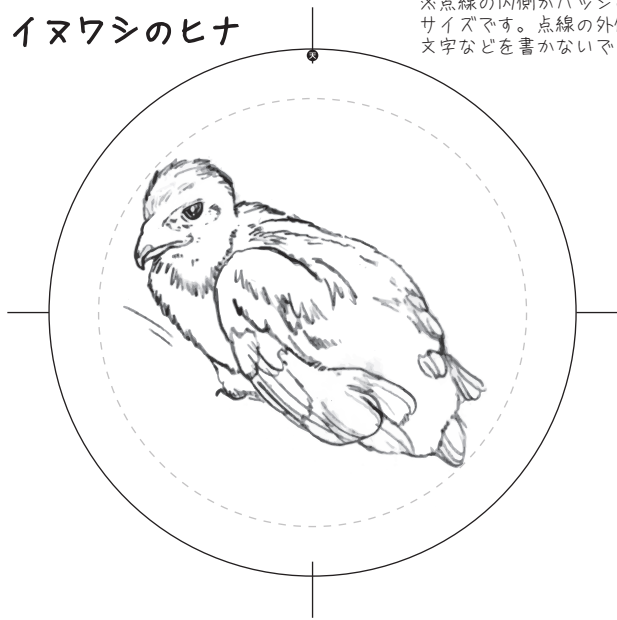
キジのなかまの野鳥ですが、里の草むらなどを好むキジと違って、山の林のなかで暮らしています。それも暗く繁った林ではなく、明るい雑木林が好みで、秋の紅葉の頃になると林道に出まきマ落葉をかき分け、ドングリや昆虫を食べま冬に備えている姿を見掛けます。イヌワシにとっては、ノウサギと並ぶ大切な獲物（えもの）のひとつです。

イヌワシのヒナ

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。

イヌワシの翼（つばさ）

※点線の内側がバッジの仕上がりサイズです。点線の外側には文字などを書かないでください。



絵本の30ページに写真もありますが、このイラストは、1987年に宮城県の翁倉山で巣から落ちま保護されたイヌワシのヒナです。ケガと病気で弱っていましたが、仙台市八木山動物公園で治療を受け、回復しました。34歳となった今は「翁」（おきな）と呼ばれ、奥さんの「空」（そら）と一緒に岩手県の盛岡市動物公園で飼育されています。

イヌワシの翼は長くま幅もあつて実に立派です。同じく山に暮らす大型猛禽（もうきん）であるクマタカの場合、幅はあつてももの短めのため、かなり太く見えます。これはイヌワシが本来的に草原の鳥、クマタカが森林の鳥であるためで、イヌワシが苦手な鬱蒼（うっそう）とした森も、クマタカは太く短い翼で器用に飛ぶことができます。

▼切り取って、封筒にはりつけて使ってね。右がわには自分の住所を書いてね▼

〒986-0729

宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前 205-12
南三陸ネイチャーセンター友の会事務局
イヌワシぬりえ缶バッジ係あて

〒

じゅうしよ

なまえ

